

市長記者会見

期　日　　令和8年1月14日（水）

時　間　　午前10時～（市政記者会）

　　　　　　午後1時30分～（新市政記者会）

場　所　　対策室2・3

発表内容

- 1 SNS等から災害被害情報を収集するシステムの活用
(危機対策課)
 - 2 市長と話そう！公共施設のこれから@万代高校
(財産活用課)
 - 3 鴻（かた）フェス2026
(環境政策課)
 - 4 本市の国際化に向けた取り組み
(観光政策課)
- (資料配布)
- ◎ 東大通道路空間再構築の検討状況

令和8年1月14日
新潟市記者発表資料

SNS等から災害被害情報を収集するシステムの活用について

○趣 旨

本市では、能登半島地震における課題を踏まえ、AIテクノロジーを活用し、災害発生時の被害情報をSNS等から収集するシステムを令和7年5月に導入しました。

加えて令和7年12月には、防災士から情報提供者として登録いただき、専用アプリを通じて団体名での投稿を可能にするなど、本市の情報収集体制を強化しています。

このシステムから収集した情報は、本市の災害対応に係る意思決定に役立てられることから、市民の皆さんもXなどのSNSを活用して積極的に被害情報の投稿にご協力をお願いします。

なお、令和8年1月16日に実施する地震対応訓練では、このシステムを利用した訓練を実施します。

新潟市の災害被害情報の収集方法

従来

区役所建設課職員等によるパトロール

電話による市民からの通報

収集時の市職員による観察

システム導入後

災害時に市民や地域で活動している防災士などからリアルタイムで情報収集可能

R7.5～
一般市民

積極的な投稿を呼びかけ

XなどのSNSに投稿

R7.12～
防災士

専用アプリから投稿
(団体名も表示)

連携団体を拡大予定
(物流関係事業者など)



災害対策本部事務局（本庁）、ふるまち庁舎、各区本部、消防局、水道局、下水道管理センターの13拠点でモニタリング
→対応が必要なものは関係部局に共有・指示

【お問い合わせ先】

新潟市危機対策課長　瀧澤

電話025-226-1142（直通）

令和8年1月14日
新潟市記者発表資料

市長と話そう！公共施設のこれから@万代高校

趣旨

昨年5月に市長を本部長とする財産経営推進本部会議を開催し、公共施設のあり方検討を進めていくための「リ・スタート」宣言を市長自ら行いました。

この取り組みの1つとして、これから時代にふさわしい公共施設のあり方を、将来を担う若者（高校生）と一緒に考え、今後の本市の取り組みにつなげていくことを目的としています。

- ◆日 時：令和8年1月28日（水） 午後2時50分～4時20分まで
- ◆会 場：新潟市立万代高等学校 1階コミュニティルーム
- ◆内 容：グループワーク・発表、市長と高校生の意見交換 等
- ◆参加者：万代高校1年生 19名
- ◆その他：意見交換会終了後、市長への囲み取材を予定しています。

※生徒には、別途インタビューいただけます。

【イメージ】



【お問い合わせ先】

新潟市財務部財産活用課長 鈴木
電話025-226-2381(直通)



潟（かた）フェス2026の開催について

1. 趣 旨

湿地の持つ多面的な価値や魅力のほか、ラムサール条約の湿地都市認証や11月に国内で初めて開催される「世界湿地都市ネットワーク市長会議」（国際会議）について、より多く方々に知っていただくことを目的に開催するもの。

2. 主 催

新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議

潟フェス 2024 の様子
(R6. 2. 12)



3. 開催日時

令和8年2月11日（水・祝） 午前10時～午後4時半



4. 会 場

新潟日報メディアシップ1F、2F（中央区万代3-1-1）

5. イベント概要

(1) エントランスホール（展示ほか）【1F】（午前10時～午後4時半）

- 市内の里潟の魅力や保全活動等に関するパネル等の展示
- 親子で楽しめる潟ゲーム大会や湿地にまつわるクイズラリー
- クイズラリーの参加者には、佐潟のラムサール条約湿地登録30周年記念「限定湿地カード（2種類）」をプレゼント（本イベント限定配布）
- 潟スイーツ（笹だんご、ハクチョウショーキーム）の販売

(2) 日報ホール（講演・発表会）【2F】（午後1時～午後4時）

第一部 《講演》

「湿地都市ブランディングの戦略～どうしたら伝わる？ “潟・湿地” の価値・魅力～」

- ・ 早藤 優樹 氏（株）オズマピーアール コミュニケーションプランナー）
- ・ 小林 拓郎 氏（株）新潟博報堂 チーフビジネスプランニングディレクター）

第二部 《発表》

- 公認里潟ガイドによるヴァーチャル実演ガイド
- 子どもたちによる環境学習発表会 ※②③は動画による発表

①葛塚東小学校（北区）	④赤塚中学校（西区）
②岡方第一小学校（北区）※	⑤松野尾小学校（西蒲区）
③山潟小学校（中央区）※	

6. 申し込み（講演・発表会のみ必要）

- 定員／先着200名【入場無料】
- 新潟市役所コールセンターにて受付 電話（025-243-4894）
- 申込開始 1月22日（木）から 受付時間 8:00～21:00（年中無休）

【お問い合わせ先】

新潟市環境政策課長 田辺

電話025-226-1356（直通）

かた フェス 2026

世界が認めた「国際湿地都市NIIGATA」を感じよう！
 身近にある「潟」との暮らし。
 ハクチョウ越冬数日本一

2026
02.11 水 祝 10:00
 ~16:30

新潟日報メディアシップ 1F,2F
 (新潟市中央区万代3丁目1-1)

入場
無料



福島潟
 マスコットキャラクター
 “クイクイ”

アルビレックス新潟
 クラブマスコット
 “アルビくん”

TEAM“潟のミカタ”



- 1F みなと広場
- ・体験ブース
 - ・潟スイーツ
 - ・クイズラリー
 - ・潟ゲーム大会
 - ・潟カフェ
 - など

1F みなと広場 & 2F 日報ホール
 潟に関する
 取組
 展示

団体・学校による取組や
 「潟」に関わる
 資料・情報の展示

日報ホール
講演・発表

第1部 講演 13:00~(受付 12:00~)

「湿地都市のブランディング戦略について」



先着
200名
要申込

お申込み方法は裏面をご覧ください

早藤優樹氏
 株式会社オズマビーアル
 コミュニケーションプランナー
 【実績例】
 岐阜県関市と、あの
 スターワーズをコラボ

小林拓郎氏
 株式会社新潟博報堂
 ビジネスデザイン局 地域ミライデザイン部
 チーフビジネスプランニングディレクター
 【実績例】
 にいがた2km、G7 NIIGATA

第2部 発表 14:30~

- 里潟ガイドによる
 ヴァーチャル実演ガイド
- 子どもたちによる
 環境学習発表



司会 山田彩乃
 TEAM“潟のミカタ”

潟 かた フェス 2026

2026
02.11 水 10:00
祝 ~16:30
新潟日報メディアシップ 1F,2F

入場
無料

講演・発表
2F 日報ホール



司会 山田彩乃
NPO 法人
Lily&marry'S 理事長
TEAM“潟のミカタ”

リリマリ代表として、環境問題や地域活性化を目指して活動している。大学時代には授業で潟の魅力に触れ、その価値を実感してきた一人として、TEAM“潟のミカタ”として情報発信している。

取組
潟に関する
展示

体験ブース
1F みなと広場



田中屋本店



中条たまご

● アルビレックス新潟(詳細未定)

● 湖スイーツ 食から潟を感じよう!

- 「湿地にまつわるスイーツ」を販売。
- 水田の恵み「お米」が素材の
お団子やおこわ(田中屋本店)
- 湿地を住み家とする「白鳥」の形をした
シュークリーム(中条たまご)

新潟市の鳥「ハクチョウ」は、
私たちの暮らしの中で
生活しています。



「潟のミカタ!」とは

「国際湿地都市 NIIGATA」のブランド確立に向け、市民をはじめ多くの方が「潟など湿地の価値」を再認識し、「交流人口の拡大」につながるように、潟の持つ多様な価値・魅力の「見方」を発見・発信し、潟を好きになる人や、潟の保全を応援する仲間「味方」を増やしていくプロジェクトです。



第1部 講演 13:00~(受付 12:00~)

「湿地都市のプランディング戦略について」



早藤優樹氏
株式会社オズマビーアール
統合コミュニケーション戦略部
コミュニケーションプランナー



小林拓郎氏
株式会社 新潟博報堂
ビジネスデザイン局 地域ミライデザイン部
チーフビジネスプランニングディレクター

新潟市出身
日本パブリックリレーションズ協会認定PRプランナー

インターネット広告代理店で企業のデジタルプロモーションを多く担当した後、新潟博報堂に入社しリター。プランナーとして統合的なマーケティング・コミュニケーション戦略の設計と実行に携わる。官公庁や企業の広報・PRのプランニングの実績多数。
【広報・プロジェクト実績】表参道・新潟館ネスパス / 新潟県観光協会 / 新潟県消費生活センター / 日本の祭り / 国勢調査 / うおぬま会議 / 国民文化祭 / 衆院選 / 県知事選 / 東アジア文化都市 / にいがた2km/G7新潟財務大臣会議 / 国土交通省

第2部 発表 14:30~

● 里潟ガイドによる ヴァーチャル実演ガイド

子どもたちが発表する潟を里潟ガイドが
写真や映像等を使って案内します。



● 子どもたちによる 環境学習発表

- ・葛塚東小学校(福島潟)
- ・赤塚中学校(佐潟)
- ・岡方第一小学校(十二潟)※録画
- ・松野尾小学校(上堰潟)
- ・山潟小学校(鳥屋野潟)※録画

申込方法

お電話にて
お申し込みください

先着
200名
要申込

新潟市役所コールセンター

025-243-4894

【受付開始】1月22日(木)より

【受付時間】8時~21時(年中無休)

● 湖ログ COLLECTION 湖の生き物を集めよう!

潟に住む生き物を時間内に集めるゲームに挑戦。
ステージは「鳥屋野潟」「福島潟」「佐潟」「上堰潟」の4つ。
高得点の人には、
お米のお箸をプレゼントします。



● ヒシの実チャレンジ

オオヒシケイのお腹にヒシの実をくっつけよう。
成績優秀者にはヒシの実ケイクをプレゼント。



● 謎解きゲーム

湿地をもっと知ろう!
会場内をまわって、湿地にまつわる「謎解きゲーム」に挑戦。チャレンジャーには、
特製「湿地カード」をプレゼントします。



● 大型水鳥人気投票

オオヒシケイ、トキ、コハクチョウ。
えちごエコネットの指標種3種の人気投票。だれに投票する?



● アルビくんとクイクイも 遊びに来るよ

アルビくんやクイクイと一緒に写真を撮って
SNSに投稿しよう。



第5回 世界湿地都市ネットワーク市長会議 予告

主催: 新潟市
期日: 2026.11.30(月)~12.2(水) 3日間
会場: 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
新潟市内の湿地(佐潟・福島潟)



Wetland City
Network

World Wetlands Day 2 February 2026



Wetlands and traditional
knowledge: Celebrating
cultural heritage

このイベントは
毎年2月2日の国連デー
「世界湿地の日」の
関連イベントとして
開催します。

本市の国際化に向けた取り組みについて

1 外国人向け案内サインの整備

- 矢羽根型案内サイン（万代地区5箇所）



- 路面案内サイン（万代地区66箇所、古町地区85箇所）



2 関係機関連絡会議の開催

- (1) 目的 オール新潟での機運醸成や、おもてなし体制の強化
- (2) 時期 R 8.2月中旬
- (3) 対象 飲食業、宿泊業、タクシー等交通関係、商店街 ほか 関係機関
- (4) 内容
 - ・市長からの説明（主な大規模イベント等について）
 - ・講演（著名な有識者による講演）ほか

【お問い合わせ先】

新潟市政策企画部 山本

電話 025-226-2142(直通)

新潟市観光・国際交流部 観光政策課 明間

電話 025-226-2604(直通)

令和7年度外国人向け案内サイン整備予定箇所（新潟市全体概要図）

★ 矢羽根型案内サイン（全5箇所）

● 路面案内サイン（全151箇所）





令和8年1月14日
新潟市記者発表資料

東大通道路空間再構築の検討状況について

【再構築の目的】

- 人を中心のまちづくりを目指し、新潟の玄関口にふさわしい、
風格と機能を備えたメインストリートへと進化させる

【検討中の再構築イメージ概要】

- 片側4車線から3車線への車道縮小案を軸に検討
- 生み出されたスペースを歩道として再配分

【今後の予定】

- 万代広場の供用開始後、車線減少による交通の流れや渋滞への影響を調査・検証
- より規模を大きくした社会実験の実施に向けた検討・調整

位置図

東大通（駅前～明石通区間）



(延長：約170m 幅員：約50m)

現況平面図



再構築イメージ図



※イメージは検討段階のものであり社会実験の結果を踏まえ、今後詳細を検討します

【お問い合わせ先】

新潟市 都政政策部 政策監 宮崎
電話 025-226-2711 (直通)